

PHAYAO レポート 2005-1

シャンティ学生寮 卒業生の声 (2005.3)

シャンティ学生寮に入ったときに思ったこと。

経済的にも、精神的にもとても助けられた。スタッフに兄弟、家族のように支えてもらった。両親の負担を軽くすることができた。

シャンティ学生寮で過ごして思ったこと。

田んぼ、集団生活、自立、友達と自分の関わり方などを学んだ。最初は慣れなかったけれども、今は卒業したくない。他の民族、人達の社会や文化を学ぶ機会に恵まれた。慈愛や真心に支えられて勉強に励むことができた。家にいたら学校に行くことができなかった。生きていく力を身につけることができた。親でもないのに育ててくれる人がいるということに感激した。

後輩へメッセージを

勉強をしましょう。自分の時間を無駄に使わずよく配分しましょう。先輩、後輩が一緒にいるのだから遠慮せず、何でも相談しあいましょう。しかし、お互いに敬意を持って関わりましょう。集団生活がきついこともあると思うけれど、社会に出たらもっと大変なのだから辛抱しましょう。先輩は後輩のよき見本となれるように心がけましょう。卒業生が尋ねてきたときはもっと皆で歓迎しましょう。



Dara Wiriyasosen



Rachadapon Seyan



Kanita Sewan



Sombat Sehan



Kantaran Panponjarun



Sunee Seson



Stipon Sewan



Mesa Sewan



Pakon Nitikasem



Tanonsak Sisonbat